

海と陸が会い、新しい大地が誕生する最前線



室戸ジオパーク

そこは、巨大地震によって大地が隆起し続ける「地殻変動の最前線」。黒潮を臨む壮大な景観は、地質学研究的な世界的スポットでもあります。海岸沿いの乱礁遊歩道を歩けば、ダイナミックな地層や亜熱帯植物の群生、空海が悟りを開いた伝説の地が、すぐ目の前に！

ジオパークとは？



「ジオ」はギリシア語で「大地・地球」を意味する言葉。「ジオパーク」とは大地の公園であり、大地と人のつながりを実感できる場所です。地域の自然遺産を守りながら、観光や教育資源として活用し、地域振興につなげていくことを目的としています。今、世界各国で「ジオツアー」（エコツアーの発展型）が注目されています。

ジオパークはユネスコの支援で平成16年に設立された世界ジオパークネットワーク(GGN)によって、世界各国で推進され、平成22年9月現在、世界ジオパークは66地域(21カ国)、日本ジオパークは14地域が認定(世界ジオパーク4地域含む)されました。室戸ジオパークは、四国で唯一日本ジオパークの認定を受けており、平成22年9月には、世界ジオパーク加盟の国内候補地に推薦されています。

室戸ジオパークの多様なテーマ性を 持ったジオサイト一覧



室戸ならではのジオツーリズム

ジオに注目する旅が「ジオツーリズム」です。ここ室戸ジオパークでは大地の成り立ちに気づき、生態系、さらには伝統文化や歴史とジオとの関係について理解を深めることができます。半島沖の海底では、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んでおり、その結果起こる「大地が生まれる瞬間の姿」が世界一簡単に観察できますし、100~150年に一度の巨大地震によって、今なお隆起する海岸に直に触れることもできます。

津波を起こす巨大地震は脅威ですが、隆起した大地で育まれた雄大な自然環境のもと、亜熱帯植物などの多様な天然記念物が見られます。また、高知県唯一の重要伝統的建造物群保存地区の「吉良川の町並み」などの文化遺産もあります。さらに、地形を活かした海洋深層水の取水や農林漁業も盛んで、季節の豊富な食材が楽しめますし、ダイビングやホエールウォッチング、イルカとの触れ合いなど海洋レジャーも魅力的で、数々の地域資源に恵まれたエリアです。

地元のボランティアガイドも充実しており、ジオツアーを体験すれば、大地が形成されるまでの時間の流れを知り、室戸半島の雄大さや地域の豊かさに触れる貴重な旅となるでしょう。

南国土佐の中でも、特に冬の温暖さで知られる室戸半島は、一年を通して、海と陸の繋がりが実感できる地域です。



深海から届いた隆起の証拠。大きく変形した地層から大地形成のヒミツが分かる。

